

報道関係各位

2024年10月16日

伝統技工で機能美を表現した万年筆

『伝統漆芸 嘜 万年筆 古美箔（ふるびはく）』

10月26日（土）全国発売

セーラー万年筆（社長：町克哉、本社：東京都港区）は、「伝統漆芸 嘜（なわて）万年筆 古美箔（ふるびはく）」を全国のセーラー万年筆製品取扱販売店にて、2024年10月26日より全国発売いたします。

■『伝統漆芸 嘜』

「伝統漆芸 嘜」は蓋に特長的な筋状成形を施し、機能美あふれる仕上がりとなっております。

地に施されたムラのある燻し銀箔は洋の雰囲気醸し、そこに箔を散らし漆で仕上げています。

◆名称の由来

嘜…縄手／嘜（なわて）NAWATE

1. 田の間の道。あぜ道。なわて道。

2. まっすぐな長い道。

3. 縄の筋、なわ。（出典：デジタル大辞泉）

伝統漆芸 嘜 万年筆の最大の特長である蓋の筋状成形のイメージから着想して「嘜」と命名しました。

【伝統漆芸 嘜 万年筆 古美箔 ラインアップ】



金属粉で地を作り、擦り切れたように金属箔を貼って漆で仕上げた本体は、丁寧に奥行きがあり、格調や歴史的な重厚感を感じていただけるものに仕上がりました。

●筋状成形を施した蓋

会津若松で三代つづく漆工房、「漆工よしだ」。

会津塗の技法に拘らず、器の用途により合うカタチ・技法を考えながら制作している漆工、吉田徹が万年筆に合うカタチ・技法を考えて生まれた「伝統漆芸 嘜 万年筆」。蓋に伸びる筋は縦長の視覚効果と、持った時の指の掛かりによる蓋の開け閉めの安定感を考慮した形状で、まさに機能美といえます。



●会津塗の特長と歴史

会津塗は、福島県の西部に位置する会津地方に江戸時代から伝わる伝統技法で作られた工芸品です。盆地特有の湿潤な気候が漆を扱う環境として適していました。縁起の良い意匠や多彩な加飾の美しさがあります。

会津塗の産業としての歴史は、1590年（天正18年）、蒲生氏郷が会津に入封したときに始まります。

江戸に近いこともあり、漆の木の栽培から加飾まで、作業を一貫して手がける一大産地となり技術革新にも取り組み、幕末には外国に輸出されるほどになります。

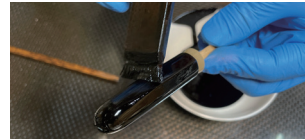
【筋状成形+箔散工程】



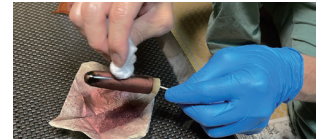
①下塗り(二回)
素地とすぐろめ漆※をなじませる
※すぐろめ漆：漆の水分を抜いた濃度の濃い漆
/今回使用している漆は全てすぐろめ漆です



②筋作り(三回)
漆と砥の粉で筋を作る



③中塗り(二回)
地を整える



④粉蒔き
金粉・銀粉・赤銀粉で蒔き締める



⑤粉固め
粉に漆を浸み込ませ固める



⑥箔ちらし
銀箔、金箔、赤銀箔を擦り切れた
ように貼る



⑦粉蒔き
箔の付いていない部分に金粉、
銀粉、赤銀粉を蒔く



⑧箔・粉固め
漆を浸み込ませ固める



⑨完成



漆工 吉田 徹

1968年 会津若松生まれ
1987年 家業の漆工房に入る
1993年 長野・木曾の佐藤阡朗氏に師事
1996年 会津若松にて独立
2002年 伝統工芸士認定
2004年 初個展 以降個展グループ展を重ねる

世界で評価された21 金ペン先

セーラー万年筆独自の技術で成し得た21金ペン先。万年筆のペン先として多く使われている14金や18金に比べて弾力をもたせており、筆圧が強くなってもペン先の切れ込みが開くことなく、インク切れが起こりにくくなります。“しなる”ように紙面を滑り、常に安定したインク供給で“フェザータッチ”とも言われる快適な書き味が楽しめます。しなやかな書き心地を実現した、万年筆の原点が感じられる逸品です。



【製品スペック】

品名：伝統漆芸 暇 万年筆 古美箔

希望小売価格：220,000円（本体価格200,000円）

ペン先：21金、中字、大型

蓋：エボナイト、筋状成形、漆、古美箔

胴：エボナイト、漆、古美箔

大先：PMMA樹脂

金属部品：ゴールドIP仕上げ

本体サイズ：φ18.7×151.6mm、31.2g

パッケージ：オリジナル木箱（桐箱）、(W207×D70×H91mm)

セット内容：伝統漆芸 暇 万年筆 古美箔 1本、1本袋、

クリーニングクロス1枚、カートリッジインク(ブラック)2本、

万年筆用使用説明書1部、製品説明書1部、万年筆品質保証書1部

パッケージ



天面に伝統漆芸の箔押しを施した桐箱。台座付きのカブセ箱でこれまでにない和洋の雰囲気と併せ持つ「伝統漆芸 暇」シリーズオリジナルの木箱となります。



一本袋は、着物をほじいた生地を裁断し、一つ一つ手作りで仕上げられています。着物からとった上質な正絹の手触りは心地良く、万年筆の収納に適した仕上がりです。

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167（フリーダイヤル）

以上

《当リリースに関する問合せ先》

開発本部：03-6670-6605 木村（kimura-a@bungu.sailor.co.jp）

不在時：開発本部 徳増（tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp）

※画像のご依頼は、木村（kimura-a@bungu.sailor.co.jp）までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社（代表取締役社長 町克哉）コード番号 7992 東証スタンダード
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://www.sailor.co.jp>